

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	那覇市こども発達支援センター（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月15日	～	令和7年 1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月10日	～	令和7年 1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	8名
○訪問先施設評価実施期間	令和5年 6月14日	～	令和7年 2月14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数) 1施設	(回答者数)	1施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種の訪問支援員が複数在籍し専門的視点で支援が行なわれている。 (心理士、保育士、言語聴覚士、作業療法士)	依頼内容に合わせて、訪問支援員を選定し職種異なる専門職2名体制で訪問している。	今後も多角的な視点で支援が行なえるよう、異なる専門職2名体制で訪問する。
2	当センターを利用している又は利用していた児童の場合、これまでの発達の育ちを踏まえた支援が行える。	計画書作成及びモニタリングでは、訪問支援員全員が協働し、育ちの発達段階を把握し助言をもらっている。	今後も児童及び保護者支援、訪問施設支援をチームでサポートしていく。
3	各種研修（育ちについて、アセスメントの仕方、個人情報の取り扱い、虐待防止について等）を実施している。	各研修後の振り返りを行い現状と課題を把握している。	計画的に研修会を開催し資質向上に努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援の訪問予定日及び時間帯を柔軟に調整することが難しい。	訪問支援員はその他（児童発達支援事業、相談事業、訓練事業）の事業を兼務している為、訪問予定日の変更等の調整が難しい。	保護者や訪問先施設から訪問可能な候補日をいくつか聞き取り、訪問先施設のクラス運営に影響しない時間帯に支援が行えるように努める。
2	保育所等訪問支援事業及び運営状況を全職員が十分に把握することができていない。	複数の事業の運営状況をすべて網羅することが難しい。	職員研修等において保育所等訪問支援事業や他事業も含めて理解を深める。定期的に行われる職務会で保育所等訪問事業の運営状況の報告を行う。
3			